

このコーナーでは、「私の好きな白河の景観50選」にご応募いただいたもののなかから、毎月1か所を皆さんにご紹介しています。



鹿嶋神社境内で見る太鼓橋を渡る提灯まつり

日本三大提灯祭りと言われる「白河提灯まつり」。町内ごとの自慢のみこしや提灯が、夜の白河を幻想的な世界に導いてくれます。私は学生のと時から社会人になるまで、この祭りに参加しました。

小・中学生のときは、山車引きや太鼓たたきを行えば小遣いや菓子をもらうことができ、祭りが来ることをとても楽しみにしていた記憶があります。社会人となって感動することが少なくなったこの頃、提灯まつりを見ると昔の感動が甦ってきます。いつまでも残してほしい「心の風景」です。

募集しています「私の好きな白河の景観50選」

「私の好きな白河の景観50選」は、本市の魅力ある景観づくりを進めるために、皆さんの身近にある景観の情報をお寄せいただくもので、9月30日が締め切りとなります。応募用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。

本庁舎都市計画課 ☎01111 内2288

ふるさとの風景を描こう

～いつだって心に残る風景がある～



こんなところから景観まちづくりを進めています

本市では、歴史ある白河の景観に配慮し、看板などの公共サインを設置する際には、基調色・ブラウン（こげ茶色・マンセル値10YR3/1及びその近似色）を使用して、景観に調和したまちづくりを進めています。

私のイチ押し



盆栽
『おうこう』

菊の美しさに魅了されて、菊づくりを始めて22年になります。当時、表郷菊の会の方が育てた菊に触れて、私もこのような美しい菊を作ってみたと思うのがきっかけでした。何度も失敗を重ねるうちに、菊を美しく咲かせるための技術を少しずつ覚えていきました。それは、気温によっての水をあげるタイミングを図ることや、追肥や芽を摘む時期などを変えることです。この部分だけでも、菊の出来は大きく変わります。

今回、大菊の三本仕立てをご紹介したいと考えましたが、まだ花を咲かせる時期ではないので、菊の盆栽を紹介します。菊の盆栽は比較的珍しく、花を付けるとさらに味わい深いものになります。

昨年、二本松県菊花品評会で富士の輝が厚生労働大臣賞を頂きました。多くの方に菊を見ていただいて、美しいと思ってくただけですが、一番の張り合いです。これからも菊の美しさを皆さんに伝えられればと考えています。



みどりかわ
緑川セツ子さん
(表郷下羽原)

イチ押し作品を募集

このコーナーでは、皆さんの自慢の作品を募集しています。本庁舎秘書広報課までご連絡ください。